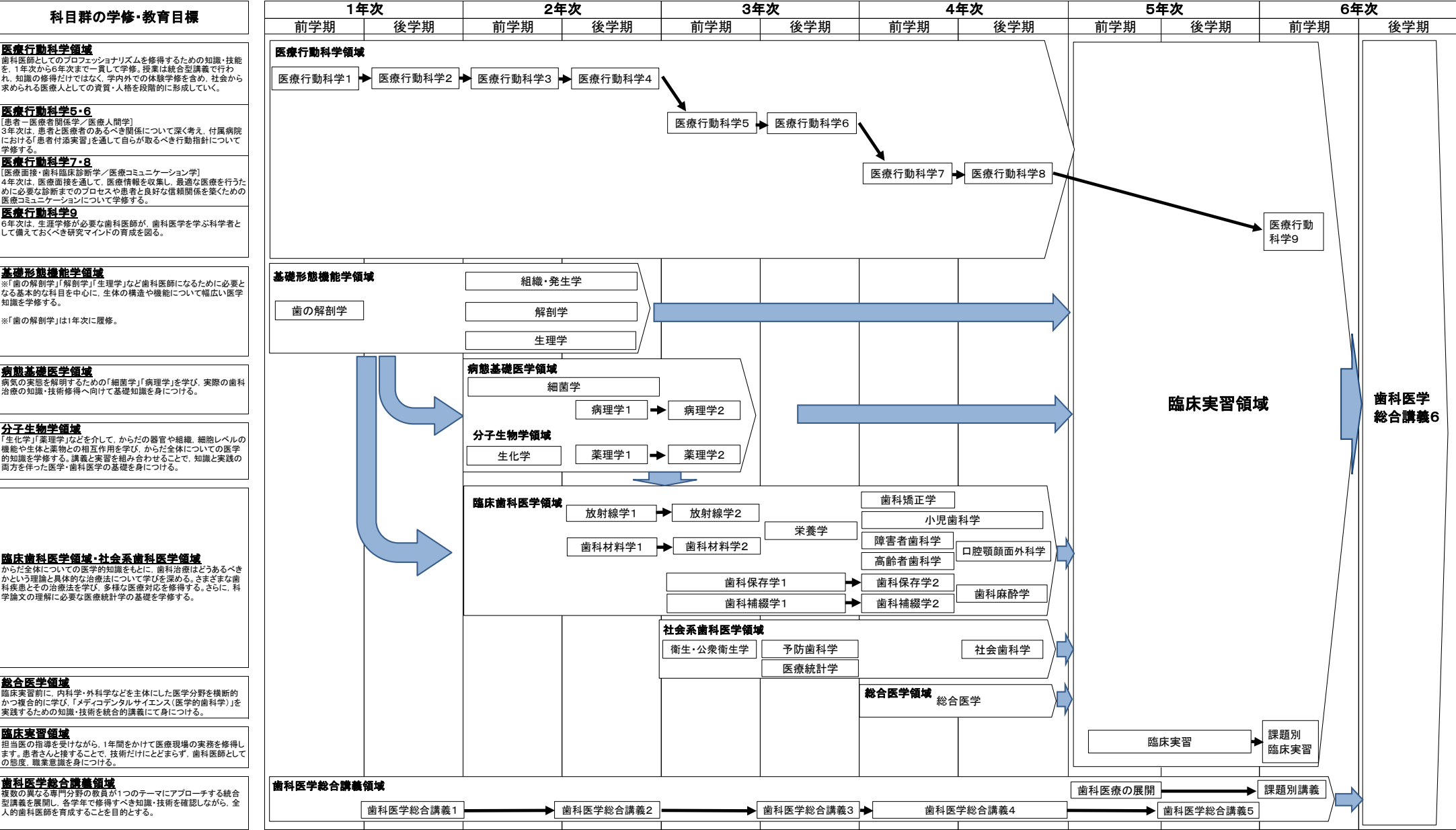


松戸歯学部 履修系統図（授業科目関連図）



松戸歯学部 履修系統図（授業科目関連図）

科目群の学修・教育目標	
医療行動科学領域 歯科医師としてのプロフェッショナリズムを修得するための知識・技能を、1年次から6年次まで一貫して学修。授業は統合型講義で行われ、知識の修得だけでなく、学内外での体験学修を含め、社会から求められる医療人としての資質・人格を段階的に形成していく。	
保健体育科目 健全な心身の維持・向上と、多くの実技実習等を通じた「社会性」の体得を目指した教育を展開する。	
教養科目 歯科医師には専門知識・技術だけでなく、幅広い教養も必要という観点から、充実した教養科目群を設ける。 ※自主創造の基礎（全学共通初年次教育科目） 「自ら考え、行動し、創り上げる」自主創造型パーソンの養成を目指した全学共通初年次教育科目である。本学の理念、歴史を理解し、大学における学びの方法の体得、学修の習慣づけを促進させる教育プログラムを1年次通年に亘り展開する。	
教養系領域 （保健体育・教養・外国語・準備教育） 保健体育科目では、歯科医師として心と身体の健康を管理できる能力を育成し、身体機能の維持・増進に加え、社会性の体得と自律した確かな人間性を高める。歯科医師には専門知識・技術だけでなく、幅広い教養も必要という観点から、充実した教養科目群を設ける。「自主創造の基礎1」では、パソコンを利用した情報の処理方法や科学レポートの作成法を学修し、「自主創造の基礎2」では、問題解決の技法とグループ討論を中心とした学修を行う。外国語科目は「英語」「ドイツ語」が必修科目としている。準備教育科目の「物理学」「化学」「生物学」「数学」においては、基礎歯科医学との関連性を重視した学修指導を行う。	
外国語科目 「英語」「ドイツ語」を必修とする。昨今のグローバル化に伴い、歯科医学の学修及び臨床の場においては、英語をはじめとする外国語の技能（聞く、話す、読む、書く）修得も肝要である。コミュニケーションツールとしての外国語のみならず、歯科医学情報の収集・分析、文献購読、研究等を見据えた語学教育を目指す。	
準備教育科目 「物理学」「化学」「生物学」「数学」においては専門科目への準備のための科目と位置づけ、基礎歯科医学との関連性を重視した学修指導を行う。	
歯科医学総合講義領域 複数の異なる専門分野の教員が1つのテーマにアプローチする統合型講義を展開し、各学年で修得すべき知識・技術を確認しながら、全人的歯科医師を育成することを目的とする。	

